



保育所等で流行しやすい感染症及び登所（園）のめやすについて



保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）準拠

感染症名	主な症状	感染しやすい期間	登所、登園のめやす	意見書	予防接種
麻疹（はしか）	発熱・咳・鼻汁・結膜充血・目やに・発しん・コプリック班	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過していること	要	有
インフルエンザ	突然の高熱・全身倦怠感・食欲不振・関節痛・筋肉痛・咽頭痛・鼻汁・咳など	症状がある期間（発症前24時間から発症後3日程度までが最も感染力が強い）	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日経過していること	インフル エンザ治 ゆ報告書	
風しん	発熱・発しん・リンパ節腫脹・悪寒・充血	発しん出現の7日前から7日後くらい	発しんが消失していること		
水痘（水ぼうそう）	発しんが顔や頭部から全身に拡大 赤いぶつぶつ→水ぶくれ→かさぶたになる	発しん出現1～2日前から、痂皮（かさぶた）形成まで	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること		
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発熱、唾液腺の腫脹・痛み 片側が腫脹し、数日後反対側が腫脹することが多い	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹（膨張）が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること		
結核	慢性的な発熱（微熱）、咳、疲れやすさ、食欲不振、顔色の悪さ	明確に提示できない	医師により感染のおそれがないと認められていること		無
咽頭結膜熱（プール熱）	高熱、扁桃腺炎、結膜炎	発熱、充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること		
流行性角結膜炎（はやり目）	流涙・結膜充血・目やに 片方の目で発症した後、もう一方の目に感染することがある	充血、目やに等の症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること	要	
百日咳	コンコンと咳きこんだ後、ヒューと笛を吹くような音を立てて息を吸うのが特徴で、連続性・発作性の咳が長期に続く	抗菌薬を使用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失していること又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること		有
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111等）	水様下痢便・腹痛・血便 無症状の場合もある	明確に提示できない	医師により感染のおそれがないと認められていること （無症状病原体保有者の場合、トイレでの排泄習慣が確立している5歳以上の小児については出席停止の必要はない、 5歳未満の子どもについては、2回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である）		無
急性出血性結膜炎	強い目の痛み・目の白目の部分の充血・結膜下出血、目やに、角膜の混濁	明確に提示できない	医師により感染のおそれがないと認められていること		
侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）	発熱・頭痛・嘔吐	明確に提示できない	医師により感染のおそれがないと認められていること		

感染症名	主な症状	感染しやすい期間	登所、登園のめやす	意見書	予防接種	
溶連菌感染症	扁桃炎、伝染性膿痂疹（とびひ）、中耳炎、肺炎、化膿性関節炎、骨髄炎、髄膜炎など 扁桃炎：発熱、のどの痛み、腫れ、化膿、リンパ節炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること	不要	無	
マイコプラズマ肺炎	咳、発熱、頭痛などの風邪症状がゆっくりと進行し、特に咳は徐々に激しくなる	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること			
手足口病	水疱性の発しんが口腔粘膜及び四肢末端に現れる 発熱、のどの痛み、水疱（みずぶくれ）	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間（口から1～2週間、便からは数週間～数か月、ウイルスを排出しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事ができること			
伝染性紅斑（リンゴ病）	発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛など、頬が赤くなったり手足に網目状の紅斑が出現する	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと			
感染性胃腸炎 （ウイルス性胃腸炎） ノロウイルス、ロタウイルス	嘔吐・下痢・脱水	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要）	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること			ロタウイルス 有
ヘルパンギーナ	高熱（数日続く）、咽の痛み、口蓋垂付近に水疱疹や潰瘍形成	急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事ができること			無
RSウイルス感染症	発熱・鼻汁・咳・喘鳴・呼吸困難	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと			
帯状疱疹	小水疱が神経の支配領域にそった形で片側性に現れる正中を超えない	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化するまで			
突発性発しん	高熱が、3～4日間続いた後、解熱とともに体幹部を中心に鮮紅色の発しんが出現する	明確に提示できない	解熱し機嫌がよく、全身状態が良いこと			
アタマジラミ	小児では多くが無症状であるが、吸血部位にかゆみを訴えることがある	産卵から、若虫が孵化するまでの10～14日間	駆除を開始していること			
疥癬	かゆみの強い発しん、水ぶくれ、しこりなど	明確に提示できない	治療を開始していること 手をつなぐなどの遊戯・行為は避ける			
伝染性軟属腫（ミズイボ）	直径1～5mmの白～淡紅色のぶつぶつで、表面はつやがあって一見水ぶくれに見える	水疱を形成している間	掻きこわし傷から滲出液が出ているときは被覆すること			
伝染性膿痂疹（とびひ）	水ぶくれ、びらん、かさぶたが全身に見られる引っかくと新しく水ぶくれなどができる	効果的治療開始後24時間まで	皮疹が乾燥しているか、湿潤部位が被覆できる程度のものであること			
B型肝炎ウイルス	ウイルスが肝臓に感染し、炎症を起こす	B型肝炎ウイルスが検出される間	急性肝炎の場合、症状が消失し、全身状態が良いこと キャリアは制限なし	有		